



Truth ~真実~

第 2 1 号

2 0 1 9 年 5 月 1 5 日 発 行

発 行 責 任 者 岡 本 洸 太

編 集 者 教 宣 部

福知山線脱線事故 現地踏査開催！！①



ドームに覆われた事故現場



事故現場付近の献花台



塚口方から見る事故現場のカーブ



JR西労による横断幕

2019年4月24日～26日にかけて、横浜地本青年部主催「JR福知山線脱線事故現場現地踏査」を開催し、8名の仲間に参加をしてきました。今年は事故現場が「祈りの杜」として整備され、昨年まで違う場所で開催されていたJR西日本会社主催の慰霊式もこの場所にて行われました。私たちは事故の面影を消し去り、「祈りの杜」として整備することで「事故原因と経営責任を永久に隠ぺいした」と受け止め、祈りの杜での献花は行わず、現場付近にて献花と黙とうを行いました。その後現場付近のこの線橋（写真左下）に向かい現場のカーブを見学しました。当時は尼崎駅での東西線との接続を遅らせてはならないという強い圧力があり、ちょうどこの線橋のところからブレーキをかけて減速するが、遅れを取り戻すにはその手前の直線でスピードを出すしかないというお話を聞くこともできました。但し、尼崎駅での接続は現在も行われており、現場にはひっきりなしに列車が往来し、踏切も時折長く閉まったままになることもありました。事故後、現場付近一帯は祈りの杜として整備され、さらに車両が激突したマンションには大きなドームが被さったため、最近現場付近に引っ越してくる人のなかには、ここが一体何の場所なのかわからない、知らないという人もいるそうです。事故から14年という年月が経つなかで、私たちは、107名の命が奪われたこの真実と現実を絶対に風化させてはいけません。

22号へ続く！